

【第3回】

ICTを活用した「読み書き」の支援について、教えてくれない？

え？どうしたの？

クラスの子どもに読み書きが苦手な子がいて……。パソコンの操作は興味があるから、ICTを活用できないかな、と思って。



High & Ryo the イエロー (配 慮)

わかった！子ども一人一人に合った学びってとても大事だね。ICT機器は有効な支援の一つだね。タブレットの活用自体が目的とならないよう、児童の学び方の一つとなるように考えていくことが重要だよ。そう考えると、実態把握が重要になってくるよね。例えば、この「読み書きの困難さ」といっても、その背景は人それぞれなんだ。例えば……

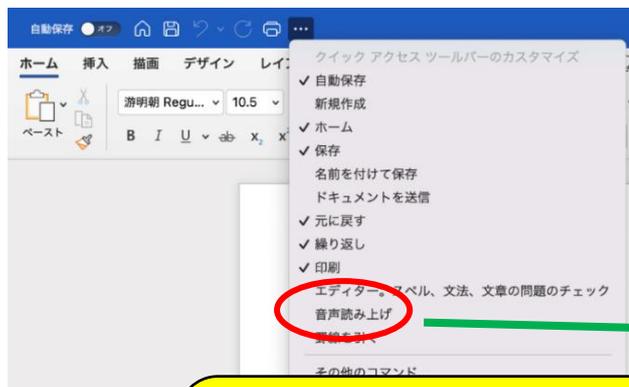
- 音韻意識・語彙力の弱さがあるのかも
- 重なって見えるなど、見え方に困難さがあるのかも
- 眼球運動や空間関係の把握に苦手さがあるのかも などなど

背景が違えば、子どもに合った支援も違ってくる。だからこそ、丁寧なアセスメントが大切なんだ。フォントを工夫したり、スリットを利用したりとか、今まで行ってきた支援も有効な支援だよ。それと併せて、ICT端末の基本機能を活用することもできるよ。

例えば……

Microsoft Word 読み上げ機能

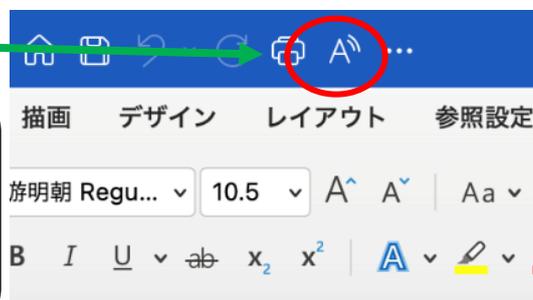
• 音声読み上げ



Wordの「音声読み上げ」を紹介するよ。この機能を使うと、テストやワークシートなどの読み上げができるよ。イヤホンで音声を聞けば、別の部屋で学習しなくてもいいよ。

慣れれば、自分で操作して、繰り返し読み上げ機能を使って勉強することもできるんだ。

読み間違いがあったり、機械音声が気になったりすることがあるかもしれないけど、それでも大まかな意味はつかめるし、他の方法を組み合わせることもできるよね。



ICT機器の利用って、子どもの困難さの背景に合わせて使うことが大切だね。子どもとよ〜く相談をして、子どもと一緒に必要な支援を決めることが大切だよ。

うん、わかった！
もっとICTを活用した子どもたちへの支援について勉強したいなあ。

ICTを活用した支援についてもっと知りたかったら、
鳥根県教育センターの出前講座（特別支援）があるよ！ぜひ来年度申し込んでみてね！

